
DRAG STAR LIFE

勇紀カイト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D R A G S T A R L I F E

【Nコード】

N 0 0 5 4 W

【作者名】

勇紀カイト

【あらすじ】

二人の青年は、かつてバイクという共通の趣味で親交を深め、親友と呼べる存在となった。夢や悩みを語り合い、共通の時間を過ごしていた。そんな中、ある事故が起きる。事故を切欠に二人はバイクから離れ、二人は全く別の人生を歩み出すこととなってしまった。

それから数年後、二人は別々の場所で、社会の荒波に揉まれていた。苦悩の生活の中、あの頃の思い出が、心の引き出しからあふれてきた。そして思う。

「もし、あの時事故が起きなければ違う今を生きていた」

二人はそれぞれに、過去を少しずつ思い出しはじめる。仲間とバイクに熱かった時間を振り返る。本当の自分を見つけるために……

前置き（仮）

中型バイク。それは、大型バイクに比べ、何かと軽視されることが多い。排気量、馬力、最高速など。しかし、日本の道路事情を考えると無闇矢鱈なスペックを有する大排気量車よりも、時には中排気量車の方が、良い塩梅となることもある。

さらに、日本の免許制度では、中型免許と大型免許に区別されている。そのため、多くの者は入門車両として、中型バイクを選択する。つまり、最も若く、情熱溢れる時間を、中型バイクに注ぐことになるのだ。

期待と不安を織り交ぜつつ、手にした初めての相棒。それは乗り手を未知なる世界へと導いてくれる。その術中にはまったら最後、相棒に、時間と、お金と、ガソリンを、次々に注いでいく。

この情熱は、唯一無二。しかし、永遠ではない。大型免許を取得すれば情熱の対象も変わってくる。バイクを降りてしまうこともある。そう、いつかは冷めていってしまう儚いもの。

情熱が冷めると、それは思い出に変わる。そして思い出は、心の引き出しの奥に、そっと、しまわれる。ある時、突然、何らかの衝撃で引き出しから飛び出すその時まで。

これから始まるのは、その情熱に取り付かれ、青春の一時を捧げた二人の青年の、物語だ。

話を始める前に、主人公の二人が乗るバイクについて紹介しよう。

ヤマハ製バイク、ドラッグスター400。通称ドラスタ。空冷Vツイン399ccエンジンを搭載した、クルーザータイプ（アメリカンとも呼ばれる）のバイクだ。クラシックと呼ばれる重厚スタイルと、スタンダードの細身スタイル。この二種類が存在する。

1996年に発売（クラシックは98年）されて以来、リジット風モノショック式リアシングアームや、空冷Vツインエンジンといった特徴が人気を博し、国産クルーザーバイクの代名詞となった。2011年現在、騒音規制、自動車排出ガス規制といった難題を乗り越え、生産が続いている。

国内の流通台数も多く、現在も様々な個性豊かなドラスタを街中で目にするができる。乗り手の個性に合わせてバイクをカスタムする。これがクルーザーの一番の魅力だ。

あるものは乗りやすく、また、あるものは乗りにくく。一見して理解しがたいカスタムも存在するが、それなりに理由があるものなのだ。だから決して、突っ込んだりしてはいけない。

前置きはこのへんで終わるとしよう。

それでは本編へ……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0054w/>

DRAG STAR LIFE

2011年10月9日12時37分発行